

授業科目(ナンバリング)	国際関係論(AC121)			担当教員	滝 知則		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
今日の日本にとっての国際関係の主な課題にはどのようなことがあるかを、グループワークを通して理解したうえで、そうした課題について基礎的な説明ができるようになる。							①⑥⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	国際関係の課題について、どのアクターが関与し、どのような利害があるかを、歴史的経緯を踏まえて述べるができる。				定期試験	10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	グループワークに参加し、討論に貢献できる。				プレゼンテーション	10%	
多様性理解力	①国内社会と国際社会の特性の違いを説明できる。 ②国際関係の構造と課題が、20世紀前半・冷戦期・ポスト冷戦期・2022年以降のそれぞれの時期でどう異なるかを説明できる。				予習・復習 小テスト 定期試験	10% 20% 50%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験 60%、予習・復習 10%、小テスト 20%、プレゼンテーション 10%とする。予習・復習では毎回の授業で学修した内容の理解度を確認するとともに、学修への取り組みの積極度を見る。小テストでは、第12回までに学修した国際関係の基本的な事項の理解度を確認する。プレゼンテーションでは、学修した基礎知識にもとづいて、国際関係の事例を分析できる能力、ならびにグループで学修できる能力に注目する。フィードバックは、当日または翌週の授業で行う。定期試験では国際関係の理論の理解度、ならびに理論に基づいて事例を分析できるかどうかを評価する。							
授業の概要							
約200の国家から構成される国際社会には、国内社会とは異なる特徴がある。国際社会の課題への取り組み方は国内社会と異なる(第2回、第3回)。戦争の防止は国際社会の最重要課題であるが、戦争に至ってしまった事例が20世紀後半以降にもある(第4回、第5回)。軍縮への取り組みには成果のあがったものと、まだあがっていないものがある(第7回)。国連は「世界政府」ではないが、国際関係にとって重要な役割を果たす(第7回)。国際関係における課題には戦争の防止に加え、国際経済、南北問題、環境問題と人権にかかわる課題もある(第8回～第11回)。法律的な国境がなくなることは当面ないが、経済面での国境を引き下げる取り組みが行われている(第12回)。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：帝国書院編集部編(2024)ライブ!2024 公共、世の中の動きに強くなる。帝国書院。 参考書：小田桐確・長谷川晋・岸野浩一編(2018)ワークブック国際関係論 身近な視点から世界を学ぶ。ナカニシヤ出版。 指定図書：教科書に同じ。							

授業外における学修及び学生に期待すること

1. ニュースで報道される国際関係のできごとに注目し、関心のある事例についてはノートを取ってほしい。
2. 「自分が、この事例の中に生きている人たちの立場に立っていたらどうしたい（どうなってほしい）だろうか」という問題意識を持って、この授業の学修にとりこんでほしい。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	①この授業のねらい、テーマとスケジュールを確認する。 ②小テストとプレゼンテーションの説明。 ③プレゼンテーションの仮テーマを設定する。	(予習) シラバスを読んでおくこと。 (復習) まとめ問題
2	国家と国際社会	国内社会と国際社会の特徴を比較し、国際社会の特徴(アナーキー)を理解する。	(予習) 教科書 pp. 133-6 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
3	国際関係の理論	国際関係の主な理論には国家間の対立、国家間の協調と南北関係に注目するものがあることを理解する。	(予習) 配付資料を読む。 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
4	安全保障	20 世紀後半以降の日本の安全保障政策の推移を理解する。	(予習) 教科書 pp. 141-50 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
5	国際紛争	20 世紀と 21 世紀の主な国際紛争の概略を理解する。	(予習) 教科書 pp. 158-69 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
6	軍縮と核兵器	核兵器を含む様々な軍縮の枠組みと、その成果を理解する。	(予習) 教科書 pp. 170-4 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
7	国連	国連が果たす役割(世界の平和維持、国際世論の形成、加盟国の国家機能の一部支援)を理解する。	(予習) 教科書 pp. 151-7 (復習) ①まとめ問題
8	国際経済	16 世紀以降のヨーロッパ主導の国際経済の構築と、そのメリット・デメリットを理解する。	(予習) 教科書 pp. 268-74 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
9	南北問題	南北問題の背景には 18 世紀の植民地政策があり、20 世紀後半の独立国増加に伴い南北問題が「発生」したことを理解する。	(予習) 教科書 pp. 275-82 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
10	環境問題	環境問題が国際的に認知されてから、温室効果ガス削減に各国が責任を負うようになるまでの経緯を理解する。	(予習) 教科書 pp. 295-308 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
11	人権	人権が国際問題として認知されてから、各国が国民の人権保護の責任を負うようになるまでの経緯を理解する。	(予習) 教科書 pp. 73-76 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
12	地域統合	経済面での国際交流を従来以上に盛んにする取り組みが、世界の複数の地域で行われていることを理解する。	(予習) 教科書 pp. 264-7 (復習) ①まとめ問題、②参考書確認。
13	小テスト	第 12 回までの学習内容の理解度を確認する。	(予習) 第 1 回～第 12 回のプリント
14	プレゼンテーション	①現代の日中関係、②現代の日米関係、または③その他の関係における課題を調査し、分析結果を報告する。	(予習) プレゼンテーションの準備・練習 (復習) 自他のプレゼンの評価
15	全体のまとめ	①第 14 回までの学習内容をふりかえる。 ②国際関係についての理解と考え方がどう変化したかを確認する。	(予習) 第 1～14 回のプリント (復習) 定期試験の準備